



新津屋小路から新潟の町を見ておりますよ。どこで見ているか、探してくださいませか。



江戸時代、旅籠町・古二之町、三之町(現在の古町通5・6番町)町には多くの旅人が訪れ、みなとまち新潟のもてなしを楽しみました。長谷川雪旦(はせがわせつたん:1778~1843年、天保年間)に完成した江戸の地誌「江戸名所図絵」の絵師は、天保2(1831)年に奥羽から越後を旅し、その記録を『北国一覽写 出羽越後』にまとめました。雪旦は、自身がもてなしを受けた「海老屋」という旅籠で部屋のような料理、芸妓のことなど細かくスケッチを残しています。また、「海老屋」の向かいに會津ハ一の生家「會津屋」があったことも雪旦の絵から知ることができます。



甘泉の「新かた後の月見」に登場する旅籠「あきたや清六」も、新津屋小路にありました



13 新津屋小路(いつやこうじ):新津屋小路堀という堀の両側に付けられた小路であった。新津屋小路堀は明治の町名改正で二番堀と改められた。堀は戦後になって埋立てられ、広い小路になった。

2016年NHKプラタモリ新潟のロケ地ですぞ〜



江戸時代、旅籠町・古二之町、三之町(現在の古町通5・6番町)町には多くの旅人が訪れ、みなとまち新潟のもてなしを楽しみました。長谷川雪旦(はせがわせつたん:1778~1843年、天保年間)に完成した江戸の地誌「江戸名所図絵」の絵師は、天保2(1831)年に奥羽から越後を旅し、その記録を『北国一覽写 出羽越後』にまとめました。雪旦は、自身がもてなしを受けた「海老屋」という旅籠で部屋のような料理、芸妓のことなど細かくスケッチを残しています。また、「海老屋」の向かいに會津ハ一の生家「會津屋」があったことも雪旦の絵から知ることができます。

雪旦が旅籠屋「海老屋」(古二之町:現在の古町通5番町)で描いたスケッチ。窓の向こうの「會津屋」が會津ハ一の生家です

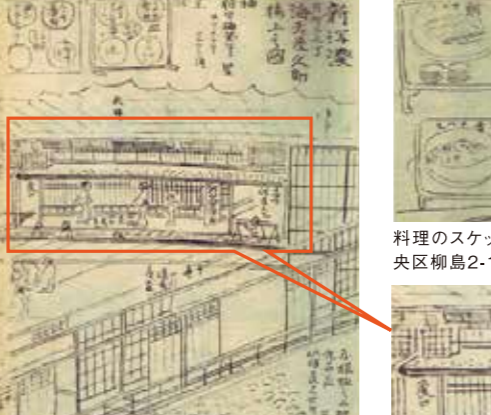


古町通5番町「松竹館」(新潟名所絵はがき)



古町通8番町「大竹座」(新潟名所絵はがき)

「古町演芸場」は、昔「電気館」が建っていた場所の向かいにあるんです。



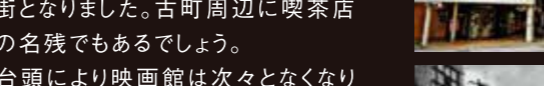
料理のスケッチ。新潟市歴史博物館みなとびあ(中央区柳島2-10)で再現したものが展示されています

會津ハ一の生家は二之町。三之町にも「會津屋」があったので、「二會」「三會」と呼び分けていました



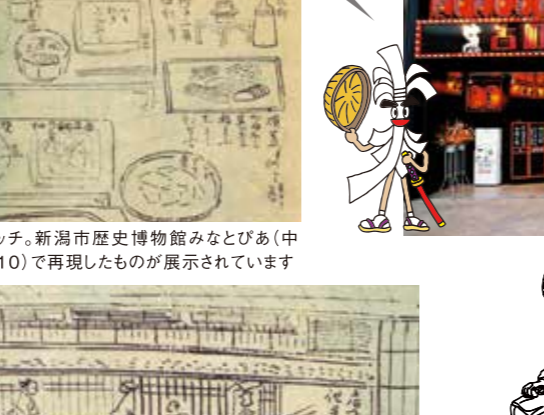
明治時代、こんびら通り(中央区西蔵島町)に「永楽座」という常設劇場ができたのを皮切りに、古町通にも数多くの劇場ができて盛んに芝居公演が行われました。大正時代に活動写真がはじまると劇場は活動写真館へ姿をかえ、昭和の映画全盛時代には、古町通は4番町の「昭和館」、5番町の「松竹館」、6番町の「電気館」、8番町の「大竹座」、9番町の「大勝座」と、番町ごとに映画館が並ぶエンターテインメントの一大発信地となります。モダンな外観の商店も増え、一帯は北陸有数の繁華街となりました。古町周辺に喫茶店が多いのはカフェの名残でもあるでしょう。

戦後、テレビの台頭により映画館は次々となくなり町のようすも変わりましたが、新たにできた「古町演芸場」や、毎回大勢の人で賑わう「ジャストリート」「食の陣」「古町どんどん」などが開かれる古町の中心として、今も親しまれています。



「大新潟の銀座街古町十字路」(新潟名所絵はがき)

「古町演芸場」は、昔「電気館」が建っていた場所の向かいにあるんです。



料理のスケッチ。新潟市歴史博物館みなとびあ(中央区柳島2-10)で再現したものが展示されています

會津ハ一の生家は二之町。三之町にも「會津屋」があったので、「二會」「三會」と呼び分けていました



上:右側の赤屋根の双塔の建物が「電気館」(新潟名所絵はがき)



下:同じ位置から見た現在の古町通6番町

「大新潟の銀座街古町十字路」(新潟名所絵はがき)



屋根の上から町を見守る弘法大師さまと、NEXT21のツーショット!

わしの生誕地の碑じゃ



私も近くにいるから、探してね。



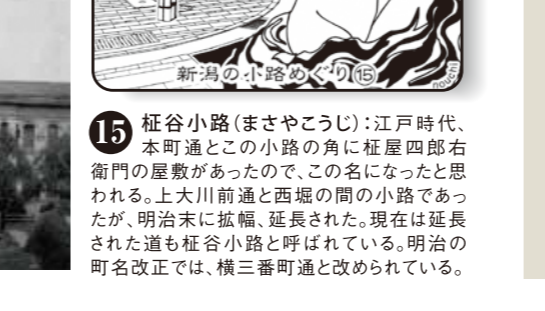
17 新堀(しんぼり):初めは道心小路という小路であったが、そこに新堀が掘り割られ、その両側が小路になった。新堀は明治の町名改正で三番堀と改められたが、堀は戦後になって埋立てられ広い小路になった。

19 坂内小路(ばんないこうじ):江戸時代、本町通のこの小路の上手に坂内利兵衛の屋敷があったので、坂内小路と呼ばれたと思われる。明治の町名改正では、横四番町通に改められた。



現在、會津ハ一誕生地の碑が建っています

わしの生誕地の碑じゃ



2016年NHKプラタモリ新潟のロケ地です。



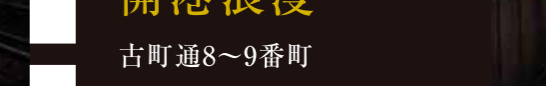
新潟の花柳界と開港浪漫  
古町通8~9番町

昭和5年頃の古町花柳界 (芸妓置屋 待合)

西堀前通八番町										西堀前通九番町													
ちぢみや(常盤)	渡辺炭屋	望月	山口	ブリキヤ	初桜家	梅家	佐藤	ホリ車屋	倉	倉	小島	イサミ	弥生	曲	阿部	高田	高田	中元	浦島	倉	倉	協	
福平田	芳の井	高屋	三條家	三條家	花屋	市川	萬真楼	ウララ	附島家	附島家	大島	春日井	分山崎家	大勝座	空	立花家	初田中	瓢	かすみ	太田	都	中村家	玉の
新津家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家	三條家



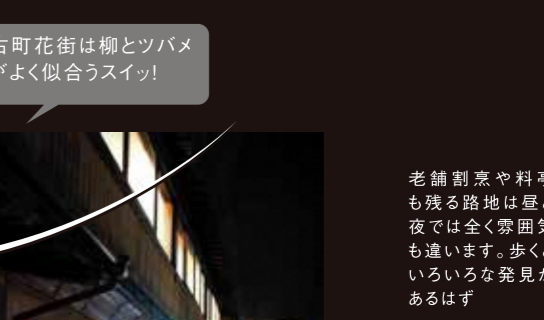
古町花街は柳とツバメがよく似合うスツ!



15 榎谷小路(まさやこうじ):江戸時代、本町通とこの小路の角に榎屋四郎右衛門の屋敷があったので、この名になったと思われる。上大川前通と西堀の間の小路であったが、明治末に拡幅、延長された。現在は延長された道も榎谷小路と呼ばれている。明治の町名改正では、横三番町通と改められている。

19 坂内小路(ばんないこうじ):江戸時代、本町通のこの小路の上手に坂内利兵衛の屋敷があったので、坂内小路と呼ばれたと思われる。明治の町名改正では、横四番町通に改められた。

古町通八番町										古町通九番町																						
小島館	倉	藤井興服屋	吉田家	秀本	鍋床	油堀屋	二ノ口	大丸	多摩川	竹本	大場	ヒノヤ	三月	八百重	榎井	香月	小川	山際	堤原	榎井	三河	島本	千代	東洋軒	高見	杉屋	かき	たご	東川	金子	ざん	
近江家	木曾家	こしよき	若松	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士



老舗割烹や料亭も残る路地は昼と夜では全く雰囲気も違います。歩くといろいろな発見があるはず



「二・三(古町通5・6)小粹で五・六(同8・9)全盛」と江戸時代から歌われた新潟の花街。8・9番町は5・6番町とは趣が違い、料亭や待合、そして京の祇園に匹敵すると全国に知られた古町芸妓がいる置屋が数多くありました。芸妓は幼い頃から置屋の養女となって修行につとめ、美しさとともに、芸の素晴らしさでぬきでいたといえます。そんな誇り高い芸妓が通った西新道・東新道周辺は、長い年月を過ごしてきた町屋やもてなしの心を感じさせるしつらいなど、魅力的なシーンで満ちています。

19 坂内小路(ばんないこうじ):江戸時代、本町通のこの小路の上手に坂内利兵衛の屋敷があったので、坂内小路と呼ばれたと思われる。明治の町名改正では、横四番町通に改められた。

古町通八番町										古町通九番町																						
小島館	倉	藤井興服屋	吉田家	秀本	鍋床	油堀屋	二ノ口	大丸	多摩川	竹本	大場	ヒノヤ	三月	八百重	榎井	香月	小川	山際	堤原	榎井	三河	島本	千代	東洋軒	高見	杉屋	かき	たご	東川	金子	ざん	
近江家	木曾家	こしよき	若松	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士



老舗割烹や料亭も残る路地は昼と夜では全く雰囲気も違います。歩くといろいろな発見があるはず



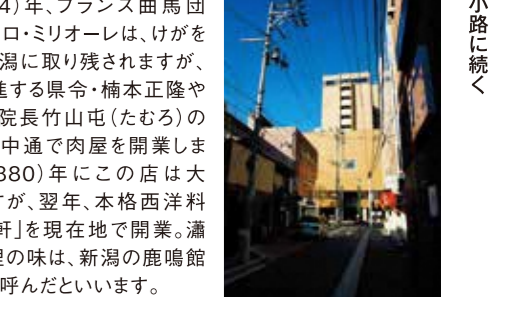
「二・三(古町通5・6)小粹で五・六(同8・9)全盛」と江戸時代から歌われた新潟の花街。8・9番町は5・6番町とは趣が違い、料亭や待合、そして京の祇園に匹敵すると全国に知られた古町芸妓がいる置屋が数多くありました。芸妓は幼い頃から置屋の養女となって修行につとめ、美しさとともに、芸の素晴らしさでぬきでいたといえます。そんな誇り高い芸妓が通った西新道・東新道周辺は、長い年月を過ごしてきた町屋やもてなしの心を感じさせるしつらいなど、魅力的なシーンで満ちています。

19 坂内小路(ばんないこうじ):江戸時代、本町通のこの小路の上手に坂内利兵衛の屋敷があったので、坂内小路と呼ばれたと思われる。明治の町名改正では、横四番町通に改められた。

古町通八番町										古町通九番町																						
小島館	倉	藤井興服屋	吉田家	秀本	鍋床	油堀屋	二ノ口	大丸	多摩川	竹本	大場	ヒノヤ	三月	八百重	榎井	香月	小川	山際	堤原	榎井	三河	島本	千代	東洋軒	高見	杉屋	かき	たご	東川	金子	ざん	
近江家	木曾家	こしよき	若松	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士	小富士

明治7(1874)年、フランス曲馬団の料理人ビエトロ・ミリオレは、けがを負ってひとり新潟に取り残されますが、文明開化を推進する県令・楠本正隆や竹山病院初代院長長竹山屯(たむろ)の協力を得て、東中通で肉屋を開業します。明治13(1880)年にこの店は大火で焼失しますが、翌年、本格西洋料理店「イタリア軒」を現在地で開業。瀟洒な洋館と料理の味は、新潟の鹿鳴館と呼ばれ人気を呼んだといえます。

19 坂内小路(ばんないこうじ):江戸時代、本町通のこの小路の上手に坂内利兵衛の屋敷があったので、坂内小路と呼ばれたと思われる。明治の町名改正では、横四番町通に改められた。



六軒小路に続く